

チャペル週報

No.23

2017.11.20 ~ 11.24

これは主のみ業
わたしたちの目には驚くべきこと。
今日こそ主の御業の日。
今日を喜び祝い、喜び躍ろう。

(詩編118編23-24節)



大学図書館屋上より

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 11月20日(月) 神 井 上 智 (神学部助教)
経 人間を考える⑥ 堀 敬 一 (経済学部教授)
人 笹 場 育 子 (人間福祉学部専任講師)
理 村 瀬 義 史 (総合政策学部宗教主事)
聖和 聖書物語「ろばにのってエルサレムに」
-
- 11月21日(火) 神 土 井 健 司 (神学部教授)
文 田 淵 結 (院長)
社 Pray with Jazz -ジャズに込められた祈り-
演奏とお話:永 田 有 吾 (ジャズピアニスト、卒業生)
法 音楽チャペル 聖歌隊
経 人間を考える⑦ 白 井 洸 志 (経済学部准教授)
商 脇 田 あかね (商学部2年)
国 収穫感謝際をおぼえて 平 林 孝 裕 (宗教主事)
理 Jeffrey Mensendiek (宗教センター宗教主事)
総 音楽チャペル ハンドベルクワイア
教 献血実行委員会 (宗教総部)
-

- 11月22日(水) 神 築 山 直 宏 (神学研究科M2)
社 「働く」って何だろう?④ 加 納 和 寛 (神学部准教授)
法 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)
経 人間を考える⑧ 舟 木 讓 (経済学部教授)
人 音楽チャペル ゴスベルクワイア "P.O.V."
国 学生活動報告(3) 宗教総部
理 総合政策学部チャペルに合流
総 細 見 和 志 (総合政策学部長)
教 梶 原 直 美 (宗教主事)
-

- 11月24日(金) 院 小 川 晃 司 (吉岡記念館事務室課長)
神 岡 田 祐 之 (校友課長)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 経済学と聖書⑦ 井 口 泰 (経済学部教授)
人 李 善 恵 (人間福祉学部准教授)
理 音楽チャペル バロックアンサンブル
-

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
11月24日(金) 同窓生のために 岡 田 祐 之 (校友課長)

「私」ではなく「^{かて}私たち」の糧～収穫感謝祭を前に

福 島 旭

今年の夏、イスラエル・パレスチナに研修に出かける機会を与えられ、新約聖書の福音書に記されているイエスの宣教活動の中心地であったガリラヤ湖を訪ねました。湖畔にある「ギノサール」というキブツ（ヘブライ語で「集団、集合」の意）で数日間を過ごしました。キブツはイスラエル特有の農業を中心とした集団社会で、「歴史上最大の共同体運動の一つである」とも言われています。

ガリラヤ湖畔の「デガニア」という名前のキブツが20世紀初頭に生まれた最初の共同体とのことで、約1世紀の時を経て、現在は約270ものキブツが営まれているということです。キブツでの集団生活の4大原則は①生産的自力労働、②集団責任、③身分の平等、④機会均等で、それが守られるとするならば、まさに理想的な社会の姿でもあります。実際、生活されている人々にインタビューすることはできませんでしたが、幸せそうなキブツに暮らす家族と共に大食堂で様々な収穫の恵みに与るだけでも幸せな気持ちになりました。採れたての野菜を分かち合う共同体の食生活の豊かさを実感しました。

私が泊まったキブツの近くの湖のほとりに『パンと魚の奇跡の教会』がありました。イエスが五千人に食べ物を与えた奇跡を行ったとされる岩の上に建てられた教会です。五つのパンと二匹の魚という「私」がいただくような個人的な量を、「私たち」という（男性だけで）五千人がいただく量に増やされた奇跡ですが、私はその岩の近くに立ちながらふと、「私」に与えられる恵みは、「私たち」に与えられているものであり、だからこそ、日毎に与えられるパン(食事)は「私」だけ独占するのではなく「私たち」に分け与えられているものであるということを改めて気づきました。

ところで、日本の教会では、アメリカの11月第4木曜日の“Thanksgiving Day”(感謝祭)の習慣に合わせて、11月第4日曜日に「収穫感謝礼拝」をささげるところが多く、収穫物を持ち寄って礼拝後にパーティを開いたりします。世代を超えて、食の恵みを分かち合い神に感謝することに気づくととても大切な行事でもあります。

キリスト教が受け継ぐ『主の祈り』の一節に「我らの日用の糧を、今日も与えたまえ」があります。この「我ら」という文言にとっても重い響きを感じます。国連WFPによると地球上に暮らす9人に1人が飢えています。どれだけの想像力でもって「我らの日用の糧を」と祈ることができるのか、収穫感謝祭を前に考えたいと願います。

(中学部宗教主事)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日（原則）に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。
どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

11月26日（日）10：00～11：00

関西学院会館ベーツチャペル

●オルガン音楽の泉 2017 Fall semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第23回 11月28日（火） 演 裕子（衣笠病院教会オルガニスト）

第24回 12月6日（水） 能島 亜未（本学オルガン講師）

いずれも12：50～13：20 [開場12：40予定]

ところ：関西学院中央講堂（125周年記念講堂）

主 催：宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。（17：50～18：20 1405教室）

11月主題：キリスト教と文化

11月30日（木）舟木 謙（宗教総主事）

●第211回ランパス演奏会

歌とリユートによる「イングリッシュ・キャロル」

演 目：愛は甦る、リユートブックララバイ、東国の三人の王、ほか

演奏者：平井 満美子／ソプラノ 佐野 健二／アーチリユート

と き：12月5日（火）17：00開演

ところ：ランパス記念礼拝堂（西宮上ヶ原）

<入場無料>

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

と き：12月18日（月）17：30開場／18：30開始／21：00終了予定

ところ：ザ・シンフォニーホール（大阪市北区大淀南2-3-3）

参加費（入場料）：2000円 当日座席指定（16：30より座席券と交換）

チケット販売：

* 関西学院大学生協（tel.0798-53-5150）

* チケットぴあ（tel.0570-02-9999） Pコード 345-158

* ぴあ取扱いのコンビニエンス・ストア：

セブン・イレブン、Family Mart、サークルK・サンクス

* ザ・シンフォニーチケットセンター（ザ・シンフォニーホール内 06-6453-2333）

お問合せ：関西学院宗教センター（tel.0798-54-6018）

主催：関西学院 共催：関西学院後援会・関西学院同窓会

◆CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会の（JOCS）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

◆盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。